

2025年度 学科別授業科目一覧表 （実務経験表記あり）

課程： 工業専門課程

学科： 情報処理科/システム開発コース

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	Java文法Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
2	Java文法Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
3	Java演習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	有
4	Java演習Ⅱ	1	60	4	必修	実習	有
5	C C N AⅠ	1	30	2	選択	講義	無
6	ホームページ	1	60	4	必修	実習	有
7	Webプログラミング	1	60	4	必修	実習	有
8	データベース演習(SQL)Ⅰ	1	30	2	必修	実習	有
9	システム設計	1	30	2	必修	講義	有
10	ハードウェアⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	無
11	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
12	アルゴリズムⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	有
13	アルゴリズムⅢ	1	30	2	選択	講義	無
14	ネットワークⅠ	1	30	2	必修	講義	有
15	ネットワークⅡ	1	30	2	必修	講義	有
16	資格対策	1	30	2	必修	講義	有
17	セキュリティⅠ	1	30	2	必修	講義	有
18	文書編集基礎	1	30	2	必修	実習	無
19	表計算基礎Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
20	表計算基礎Ⅱ	1	30	2	必修	実習	無
21	経営	1	30	2	必修	講義	有
22	基本情報対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
23	基本情報対策Ⅲ(科目A対策Ⅰ)	1	30	2	必修	講義	無
24	基本情報対策Ⅳ(科目B対策Ⅰ)	1	30	2	必修	講義	無
25	セキュリティマネジメント対策Ⅰ	1	30	2	選択	講義	無
26	セキュリティマネジメント対策Ⅱ	1	30	2	選択	講義	無
27	M O S対策Ⅰ	1	30	2	選択	実習	無
28	M O S対策Ⅱ	1	30	2	選択	実習	無
29	基礎学力Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
30	基礎学力Ⅱ	1	30	2	選択	講義	無
31	一般常識Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
32	基礎英語Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
33	ビジネス数学	1	30	2	必修	講義	無
34	就職対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
35	就職対策Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
36	ビジネスマナー	1	30	2	必修	講義	有
37	体育実習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	無
38	課外活動Ⅰ	1	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	Java文法 I	坂井 剛	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Javaの基礎を学習しプログラミングに必要な知識を習得する。 資格「Java SE Bronze」取得のための土台を作成する。							
【講義概要】							
教科書に従いJavaの基礎を学習していく。教科書のChapter1～9の範囲を学習。 理解度を確認するための確認テストを定期的を実施し、すべてに対し合格点を取得することが必須である。 本講義は資格「Java SE Bronze」取得により免除される。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Javaの概要とプログラムの作成						
2	演算子、文字列、データ型、型変換						
3	変数、定数、宣言と有効範囲						
4	条件式及び条件分岐（if/switch）						
5	繰り返し処理（for/while）						
6	配列						
7	中間試験						
8	メソッド、引数、戻り値						
9	複数クラスを活用した高品質なプログラミング設計						
10	クラスとオブジェクト指向						
11	インスタンスとクラス						
12	クラス型と参照、コンストラクタ						
13	アクセス修飾子（private、protected、public）、インスタンスメンバとクラスメンバ						
14	総復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	10%		30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。 Javaの資格に関しては「Oracle Certified Java Programmer Gold」所有。							
【教科書・参考文献】							
「スッキリわかるJava入門 第4版」（インプレス）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ	坂井 剛	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
継承、多態性、カプセル化、代表的なJavaAPIを中心に、Javaのオブジェクト指向プログラミングに必要な知識を学習し習得する。 Java文法Ⅰで学んだことをさらに発展させ、資格「Java SE Bronze」取得のための土台を作成、強化する。							
【講義概要】							
教科書のChapter10～17の範囲について、教科書、スライド、プリントを使用し解説する。 また、理解度を確認するための確認テストを定期的を実施し、合格点取得を必須とする。 本講義は資格「Java SE Bronze」取得により免除される。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	継承の基礎						
2	継承とコンストラクタ						
3	高度な継承 （抽象クラス）						
4	高度な継承 （インタフェース）						
5	多態性						
6	カプセル化 （アクセス制御、getterとsetter）						
7	中間試験						
8	Objectクラスと暗黙の継承						
9	静的メンバ						
10	文字列処理 （文字列の基本操作、正規表現、書式整形）						
11	日付と時刻を扱う （long型、Date型、Calendarクラス、TimeAPI）						
12	コレクション （List、Set、Map）						
13	例外						
14	総復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	10%		30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。 Javaの資格に関しては「Oracle Certified Java Programmer Gold」所有。							
【教科書・参考文献】							
「スッキリわかるJava入門 第4版」（インプレス）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	Java演習 I	坂井 剛	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
課題演習を通し、Java文法 I とアルゴリズム I の講義で学んだ知識を実践を通して深く理解する。							
【講義概要】							
基本的に直前のJava文法 I で学習した内容を再確認するための課題演習が毎回出題される。 学生は与えられた課題のうち必須であるものをすべて提出する必要がある。 実習は統合開発環境は使用せず、テキストエディタとコマンドプロンプトで実施する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Javaプログラムの作成と実行						
2	演算子、文字列、データ型、型変換						
3	変数、定数、宣言と有効範囲						
4	条件式及び条件分岐（if/switch）						
5	繰り返し処理（for/while）						
6	配列						
7	演習課題①						
8	メソッド、引数、戻り値						
9	複数クラスを活用した高品質なプログラミング設計						
10	クラスとオブジェクト指向						
11	インスタンスとクラス						
12	クラス型と参照、コンストラクタ						
13	アクセス修飾子（private、protected、public）、インスタンスメンバとクラスメンバ						
14	設計書に従ったプログラム作成						
15	演習課題②						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。 Javaの資格に関しては「Oracle Certified Java Programmer Gold」所有。							
【教科書・参考文献】							
「スッキリわかるJava入門 第4版」（インプレス）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ		坂井 剛	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
課題演習を通し、Java文法ⅡとアルゴリズムⅡの講義で学んだ知識を実践を通して深く理解し、継承、多態性、カプセル化、代表的なJavaAPIを用いたオブジェクト指向プログラミングが行えるようになる。							
【講義概要】							
基本的に直前のJava文法Ⅱで学習した内容を再確認する課題を出題し、実機でプログラムの作成と実行確認を行う。各課題には提出期限を設け、期限内の提出を必須とする。 統合開発環境は使用せず、テキストエディタとコマンドプロンプトでの実機演習とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	継承の基礎						
2	継承とコンストラクタ						
3	高度な継承 （抽象クラス）						
4	高度な継承 （インタフェース）						
5	多態性						
6	カプセル化 （アクセス制御、getterとsetter）						
7	中間試験						
8	Objectクラスと暗黙の継承						
9	静的メンバ						
10	文字列処理 （文字列の基本操作、正規表現、書式整形）						
11	日付と時刻を扱う （long型、Date型、Calendarクラス、TimeAPI）						
12	コレクション （List、Set、Map）						
13	例外						
14	総復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。 Javaの資格に関しては「Oracle Certified Java Programmer Gold」所有。							
【教科書・参考文献】							
「スッキリわかるJava入門 第4版」（インプレス）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 選択	講義	C C N A I		砂賀 勝己	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。							
【講義概要】							
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	CCNA試験とは・コンピュータネットワークとは・OSI参照モデル						
2	PacketTracerの使い方・Ciscoデバイスの基本設定						
3	IPアドレス・IPv6・ICMP						
4	ルータとルーティング・ルータIFのアドレス設定・PCのアドレス設定						
5	スタティックルーティング・デフォルトルートの設定						
6	ルーティングプロトコル・ここまでの復習						
7	中間試験						
8	RIPの設定・デフォルトルートの伝播						
9	2進数・サブネットワーク						
10	VLSM・サブネットの設計・RIPv2						
11	IPv6ルーティング						
12	仮想端末接続・Ciscoデバイスのセキュリティー						
13	データリンク層とイーサネット・シリアル回線						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	ホームページ	山田忍	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
HTMLを構成するタグの役割や属性について、意味をしっかりと理解したうえでセマンティックを意識したウェブサイトが制作できるようになる。HTML/CSSの基礎を習得し、今後のWebプログラミングのための下地を作る。							
【講義概要】							
本講義ではウェブ制作の言語であるHTMLとCSSの基礎を、演習を通して学習。 Webオーサリングツールの基本的な使い方についても習得する。 各回、理解度を図るための小テストも実施する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	HTML基礎 ウェブサイトの仕組み、環境構築、HTML基本構文を学ぶ						
2	HTML基礎 HTMLの要素、リンクの設定、パスの指定方法を理解する						
3	CSS基礎 CSS基本構文 セレクタの指定方法、プロパティを理解する						
4	CSS基礎 CSS基本構文 セレクタの指定方法、プロパティを理解する						
5	CSS基礎 CSSのボックスモデルを理解する						
6	HTML&CSS基礎 リスト・ナビゲーションの作成方法を理解する						
7	HTML&CSS基礎 フレックスボックスによるレイアウトを学ぶ 「主軸と交差軸」を理解する						
8	HTML基礎 metaタグ、OGP、URLの正規化を学ぶ						
9	CSS基礎 リセットCSS、CSSの設計を学ぶ						
10	HTML&CSS基礎 シングルカラムレイアウトのページを作成する						
11	HTML&CSS基礎 マルチカラムレイアウトのページを作成する						
12	実践 Webページ制作課題						
13	実践 Webページ制作課題						
14	実践 Webページ制作課題						
15	実践 Webページ制作課題						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		40%	40%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
HTML&CSS Webデザイン、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	Webプログラミング		坂巻真美	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
XAMPP環境を用いてWebシステムの基本的な仕組みやシステム構築について学習します。							
【講義概要】							
各回のテーマに関する演習を通して理解を深めます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	PHP入門						
2	PHP基礎 - 書き方/実行方法・変数・組み込み関数						
3	PHP基礎 - 入力フォーム・配列						
4	PHP基礎 - 条件分岐・リダイレクト						
5	PHP基礎 - フィルタリング・選択肢によるフォーム操作						
6	ここまでのまとめ						
7	中間課題						
8	PHP応用 - DBMSとPHP						
9	PHP応用 - 連想配列・多次元配列・繰り返し						
10	PHP応用 - ファイル分割・ユーザー定義関数						
11	PHP応用 - セッション・SQLインジェクション						
12	PHP応用 - トランザクション・ハッシュ化						
13	ここまでのまとめ						
14	最終課題						
15	PHP総まとめ - Webアプリケーション・オブジェクト指向						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 出席点 ）	合計
割合		40%			20%	40%	100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
・IT企業にてモバイルアプリ開発に従事 ・法人および個人向けITスクールにて開発系の科目を12年間担当							
【教科書・参考文献】							
PHP Tutorial（オリジナルテキスト）基礎・応用							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門 必修	実習	データベース演習(SQL) I	龔 恵美子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
SQLの演習を通して、DDLを用いたDB・TABLE作成、およびDMLによる基本的なデータ操作を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
教科書、プロジェクタ、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	データベースとは、演習用データベース環境の構築						
2	4 大命令の成り立ちと覚えるコツ (SELECT文、INSERT文、UPDATE文、DELETE文)						
3	操作対象の絞り込み (WHERE句、条件式、比較演算子、主キー)						
4	検索結果の加工 (DISTINCT句、ORDER BY句)						
5	文字列にまつわる関数 (LENGTH関数、TRIM関数、REPLACE関数、SUBSTRING関数、CONCAT関数)						
6	集計関数とグループ化 (GROUP BY句、MAX関数、MIN関数、SUM関数、AVG関数、COUNT関数)						
7	副問い合わせ I (単一行副問い合わせ)						
8	副問い合わせ I (複数行副問い合わせ)						
9	副問い合わせ II (表副問い合わせ)						
10	複数テーブルの結合 内部結合 (JOIN句)						
11	複数テーブルの結合 外部結合 (LEFT JOIN句、RIGHT JOIN句、FULL JOIN句)						
12	テーブル作成 データ型と制約 I (数値型、文字列型、日時型)						
13	テーブル作成 データ型と制約 II (主キー制約、外部キー制約、NOT NULL制約、UNIQUE制約、CHECK制約)						
14	SQL強化演習						
15	総まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。							
【教科書・参考文献】							
スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	システム設計	清野ひろし	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
システム設計技術の基本となるウォーターフォールモデルの流れに沿って、設計に必要な技術を学習する。その上でデータ中心設計やアジャイル開発の目的や意味するところを学習する。							
【講義概要】							
ウォーターフォールモデルを基にして、設計の各段階でやるべきことを学ぶ。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	シラバス説明、システム開発モデル						
2	開発コストモデル、要求仕様						
3	要求仕様、システム化準備						
4	練習問題Aの解説、システム分析手法						
5	システム設計図法 DFD、E－R図						
6	構造化チャート						
7	中間試験で理解度のチェック						
8	中間試験開設、練習問題Bの解説、システム設計技法						
9	外部設計						
10	内部設計						
11	練習問題C解説、プログラム設計						
12	プログラム設計						
13	DBのテーブル設計						
14	練習問題D解説、DB課題説明、期末範囲説明						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%	10%	15%	5%	0%	100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
8年程度PG，SEとして実務経験あり。主に言語関係（C，java，C++，C＃，php，python）、linux、DBなどを担当する。							
【教科書・参考文献】							
特になし。資料による授業							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ハードウェアⅠⅡ	井元和彦	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。							
【講義概要】							
コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／2進数から10進数への変換						
2	10進数から2進数への変換／2進数と8進数・16進数間の変換						
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数その1						
4	固定小数点数その2／シフト演算						
5	浮動小数点数、誤差						
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置						
7	中間試験						
8	アドレス指定方式、BCD						
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）						
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形						
11	フリップフロップ、ビット演算						
12	キャッシュメモリ、プロセッサの高速化						
13	補助記憶装置						
14	総まとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	20%				100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当							
【教科書・参考文献】							
ITワールド（インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ソフトウェア	小泉 真理子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。							
【講義概要】							
講義と各回に関連する科目A試験の過去問演習を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	情報処理システムの処理形態						
2	高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価 1						
3	情報処理システムの評価 2、ヒューマンインターフェース 1						
4	ヒューマンインタフェース 2、マルチメディア						
5	ソフトウェアの分類、オペレーティングシステム 1						
6	オペレーティングシステム 2、中間試験対策						
7	中間試験☒						
8	オペレーティングシステム 3						
9	プログラム言語と言語プロセッサ						
10	ファイル 1						
11	ファイル 2						
12	データベースの概要 1						
13	データベースの概要 2						
14	データベースの概要 3、いろいろなデータベース、期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、 6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
ITワールド（株式会社インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	アルゴリズムⅠⅡ	坂井 剛	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
プログラミングにおいて処理の基本となるアルゴリズムの基礎を学習する。 また、本講義は基本情報技術者試験科目Bの対策を視野に入れた内容となる。							
【講義概要】							
本講義はJava文法/演習Ⅰの講義と連携した内容となっている。 課題演習として指定したアルゴリズムをフローチャート、Javaプログラムとして作成する課題を出題する。 ※本講義は基本情報技術者試験（FE）取得で免除となる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	アルゴリズムとは、フローチャート、疑似言語						
2	変数、データ型、演算						
3	比較分岐						
4	繰り返し処理						
5	高度な条件分岐と繰り返し						
6	配列、リスト、構造体						
7	中間試験						
8	定義済処理（関数）						
9	キュー、スタック、木構造						
10	配列探索①						
11	配列探索②						
12	値の挿入、削除						
13	ソート①						
14	ソート②						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。							
【教科書・参考文献】							
「ITワールド」（インフォテックサーブ） 「[改訂新版] 基本情報技術者【科目B】 アルゴリズム×疑似言語トレーニングブック」（技術評論社） 「基本情報技術者【科目B】 ゼロからわかるアルゴリズムと疑似言語」（技術評論社）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	講義	アルゴリズムⅢ	成田与志子	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
アルゴリズムとデータ構造の基礎理論習得を目指す。 また、基本情報技術者試験で用いられる擬似言語の読み方を習得する。							
【講義概要】							
授業プリントを配布しながら講義を進める。 演習問題を実際に解きながら理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	擬似言語の読み方 1						
2	擬似言語の読み方 2						
3	基数変換						
4	論理演算（ビット演算）						
5	加算器						
6	再帰処理						
7	中間試験						
8	リスト構造						
9	木構造、ヒープ						
10	スタック、キュー、逆ポーランド						
11	文字列処理 1						
12	文字列処理 2						
13	様々なソート処理						
14	マージソート						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%		20%	10%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
基本情報技術者 科目B対策(インフォテックサーブ)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ネットワーク I	石川 章	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。 ・ 基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。							
【講義概要】							
・ 教科書をベースに各項目について説明する。 ・ 演習問題による知識の確認を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ネットワークの歴史と前提知識						
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網						
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網						
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV						
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御						
6	前半の補足と復習						
7	中間試験						
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出						
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出						
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術						
11	イーサネット1：イーサネットによるデータ伝送方法						
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器						
13	通信プロトコルとOSI参照モデル						
14	後半の補足と復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%		30%			100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
・ 長年通信会社に勤務していたため電話～インターネットなど通信全般に関する広い知識を有しています。							
【教科書・参考文献】							
ITワールド、演習問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ネットワークⅡ	石川 章	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。 ・ 基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。							
【講義概要】							
・ テキストをベースとした各項目の説明。 ・ 演習問題による知識の確認。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	IPアドレス						
2	TCP/IP(1):主にIPプロトコル、ルーティングなど						
3	TCP/IP(2):主にTCP、UDPプロトコル、ポート番号など						
4	サーバ(1)：サーバの役割、Webとメールサーバ						
5	サーバ(2)：サーバの応用技術、その他サーバ						
6	前半の復習と補足						
7	中間試験						
8	インターネット関連技術：DNS、DHCP、ARP、NAT、NAPT						
9	暗号：暗号の基礎技術全般						
10	セキュリティ技術：暗号の応用技術（SSL、VPNなど）、認証技術						
11	マルウェア・ファイアウォール						
12	サイバー攻撃：その他の脅威と対策						
13	無線LAN・IPv6						
14	後半の復習の補足						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%		30%			100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
・ 長年通信会社に勤務していたため電話～インターネットなど通信全般に関する広い知識を有しています。							
【教科書・参考文献】							
・ ITワールド ・ 演習問題（別途配布）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	資格対策	坂東 佑一	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
(授業前半)受講者全員が、中間試験までに、情報検定(J検)情報活用試験3級に合格することを目指す。 (授業後半)受講者の半数以上が、8月末までに、ITパスポート試験に合格することを目指す。							
【講義概要】							
授業前半では、情報系分野の資格の中で最も易しい部類であるJ検3級の過去問演習を行う。過去2年連続で受講者全員が合格した実績がある。授業後半では、国家資格であるITパスポート試験の過去問演習を行い合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	J検過去問演習						
2	J検過去問演習						
3	J検過去問演習						
4	J検過去問演習						
5	J検過去問演習						
6	J検過去問演習						
7	中間試験						
8	ITパスポート過去問演習						
9	ITパスポート過去問演習						
10	ITパスポート過去問演習						
11	ITパスポート過去問演習						
12	ITパスポート過去問演習						
13	ITパスポート過去問演習						
14	ITパスポート過去問演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て、2020年2月～現職							
【教科書・参考文献】							
[令和7年度] ITパスポート超効率の教科書＋よく出る問題集（インプレス） ・ 過去問は授業中に配布する							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門 必修	講義	セキュリティ I	村上 浩紀	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用							
【講義概要】							
IT初学者として情報セキュリティの知識を習得する必要性および重要性を理解する。セキュリティインシデント事例を基に予防と対応のための基礎知識を習得する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	情報セキュリティとは、サイバーセキュリティ、CSIRT、サイバー攻撃						
2	マルウェア、情報セキュリティの守り方のポイント、ソーシャルエンジニアリング						
3	攻撃、踏み台、犯罪、ボット、IoT						
4	情報セキュリティの要素:パスワード						
5	情報セキュリティの要素:無線LAN						
6	情報セキュリティの要素:Web・メールを安全に利用する						
7	中間試験						
8	情報セキュリティの要素:暗号化						
9	情報漏えい、インシデント						
10	スマートフォン・パソコンのセキュリティ設定						
11	攻撃を受けた時の対処、情報セキュリティ監査の資格						
12	情報リテラシー:SNS						
13	情報リテラシー:違法行為、不正行為、子供を守る						
14	情報リテラシー:屋外・海外でのシステムの利用、大災害・テロに備える						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%			40%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
(1) ITベンダー勤務、クラウドアーキテクト (2) 情報セキュリティ製品および認証系エンジニアとしての業務経験 (3) 情報セキュリティの取り組み支援および講演、演習などの実務経験							
【教科書・参考文献】							
NISC:「インターネットの安全・安心ハンドブック」 https://www.nisc.go.jp/security-site/handbook/index.html 参考文献:ネットワークセキュリティ (オーム社) https://shop.ohmsha.co.jp/shopdetail/000000004922/ 参考文献:暗号技術入門 (SBクリエイティブ) https://www.sbc.jp/product/4797382228/							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	文書編集基礎	藤田恵子	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
日本語ローマ字入力・特殊記号の入力、ブラインドタッチ入力速度アップ、社内文書社外文書作成、表作成と罫線、箇条書き、段落の設定や複数印刷、図形の書き方編集、画像の編集と挿入などPOP広告まで、差し込み印刷やはがき、封筒の宛名などビジネスで使う昨日を学ぶ							
【講義概要】							
毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A 4 紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	日本語入力、文章入力のこつ、特殊文字記号、スペース、改行、改ページ、印刷方法、データ保存方法、WORD基本機能						
2	文字の書式（太字、下線、文字種類サイズ、横幅拡大％）段落、インデント、タブ設定、タブの使い方、ページ設定						
3	段落の書式、行間、ページ当たり文字数、均等割付け、コピー貼り付け、文字の移動、文字や長文の入力練習						
4	社内文書作成（定例会議お知らせ、社員研修会案内、忘年会案内）社外文書作成（新社屋移転案内）ぶら下げインデント						
5	段落、ルーラー表示、タブ設定、ぶら下げインデント、右インデントの活用、社外文書作成2 切り取り線つくる						
6	画像の挿入・編集・移動・サイズ変更・位置・トリミング、ページ番号、ヘッダ・フッタの活用、社外文書作成3						
7	表作成、罫線の編集、セル結合、セル内の入力編集、表の移動・配置、住所〒番号から住所表示の方法						
8	表作成応用、表の中に画像挿入、列幅変更、行や列の挿入と削除、表の作成、表のコピー						
9	表の中に表を作る、罫線の太さ、表の中でSUM計算機能 箇条書きの基本、行頭文字変更、スタイル登録と適用						
10	箇条書きの応用、スタイル登録と適用、アウトラインの活用、段組、アウトラインによる複数ページの見出しナビ機能						
11	EXCELグラフや表をWORDにリンク貼り付け、テキストボックスの作成、編集、活用						
12	差し込み印刷、はがき印刷（宛名面、うら面）、ワードアートと特殊文字、図形のグループ化						
13	PDFに変換、WEBに変換、アウトライン、POP広告ポスター作製、400字紙印刷ほか、検定問題練習						
14	まとめと復習1						
15	まとめと復習2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点を以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
実教出版WORD30時間、無限大WORD、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	表計算基礎 I	安藤 真理	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
officeソフトの一つであるExcelの基本操作を学習する。 また後期には応用的、実践的な使用をするので、そのために必要な力を身に着ける。							
【講義概要】							
Excelの基本的な使用方法と関数の必要性などを理解し、表やグラフなどを作成する。作成する際には見やすさ、わかりやすさなどを意識したものにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Excelについて 基本的な使用方法						
2	入力について 簡単な式、オートフィル						
3	ワークシートの使用方法						
4	関数(SUM, AVERAGE, MAX, MIN, COUNT, ROUND)						
5	IF関数とネスト						
6	条件付き書式						
7	グラフ①						
8	グラフ②						
9	グラフ③						
10	データベース関数						
11	テーブル、ピボットテーブル						
12	文字列操作						
13	検索するための関数						
14	まとめ 提出状況の確認						
15	まとめ 課題の最終確認						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0 点を最高とし、 6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
3 0 時間でマスター Excel2019 （織田良次 実教出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	実習	表計算基礎Ⅱ		安藤 真理	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータを使用した表やグラフの作成とともに、表計算ソフトを通じて統計的な手法も学び、ExcelVBAの簡単な使用ができることを到達目標とする。							
【講義概要】							
OfficeソフトであるExcel2019を用いて、表やグラフの作成方法、統計解析も行い、またExcelVBAの使用方法も実践する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	関数の復習(SUM, AVERAGE, IF)						
2	関数の復習(SUMIF, SUMIFS, VLOOKUP)						
3	参照(絶対参照、相対参照、複合参照)						
4	テーブル(データテーブル、ピボットテーブル)						
5	便利な機能(ゴールシーク、ソルバー)						
6	グラフ(基本グラフ、複合グラフ)						
7	クロス集計、相関分析から求めたい値を求める						
8	近似曲線、散布図から外れ値を求める						
9	データ分析ツールの使い方						
10	マクロの使い方						
11	VBA(標準モジュールについて, MsgBox)						
12	VBA(If, ElseIf, For Nextステートメント)						
13	VBA(セル、シート、ファイルの操作方法)						
14	まとめ 提出状況の確認						
15	まとめ 課題の最終確認						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
Excel最強の教科書 [完全版] 【2nd Edition】 （藤井直弥・大山啓介 SBクリエイティブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	経営	古郡聡	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。							
【講義概要】							
授業テーマごとにテキスト『IT戦略とマネジメント』に基づいて解説した後，毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す							
回	授業計画及び学習の内容						
1	企業活動の目的						
2	企業会計						
3	オペレーションズリサーチ(1)						
4	オペレーションズリサーチ(2)						
5	経営工学・品質管理						
6	法務と標準化						
7	中間試験						
8	経営戦略マネジメント(1)☒						
9	経営戦略マネジメント(2)☒						
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ						
11	e-ビジネス						
12	情報システム戦略						
13	情報システム企画						
14	開発技術						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		75%			25%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム開発業務に従事。企業のIT系研修及び情報系専門学校にて講師を担当。							
【教科書・参考文献】							
『IT戦略とマネジメント』(株)インフォテック・サーブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報対策 I	山田忍	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本情報技術者試験に合格する						
【講義概要】						
基本情報技術者試験の過去問の演習、解説						
回	授業計画及び学習の内容					
1	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
2	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
3	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
4	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
5	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
6	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
7	中間試験					
8	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
9	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
10	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
11	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
12	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
13	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
14	基本情報技術者試験の過去問の演習、解説					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	0%		20%		100%
(補足)						・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事						
【教科書・参考文献】						
オリジナル教材						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門基礎 必修	講義	基本情報対策Ⅲ(科目A対策Ⅰ)		井元和彦	無	2 単位	30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】								
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。								
【講義概要】								
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	過去問演習							
2	過去問演習							
3	過去問演習							
4	過去問演習							
5	過去問演習							
6	過去問演習							
7	中間試験							
8	過去問演習							
9	過去問演習							
10	過去問演習							
11	過去問演習							
12	過去問演習							
13	過去問演習							
14	過去問演習							
15	期末試験							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合		80%			20%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】								
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当								
【教科書・参考文献】								
IPAが公開している過去問題、サンプル問題								

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	基本情報対策Ⅳ(科目B対策Ⅰ)		安藤 真理	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習						
2	擬似言語 分岐と繰り返し						
3	配列①、再帰						
4	配列②						
5	二次元配列						
6	中間試験対策						
7	中間試験解説						
8	探索						
9	リスト①						
10	リスト②						
11	木構造、ハッシュ表						
12	整列①						
13	整列②						
14	期末試験対策						
15	期末試験解説						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)		80%			20%		100%
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版)（大原出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅰ	外部企業より派遣	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。 原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。							
【講義概要】							
半期に一度集中講義の形で開講。 社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」 ・ 出題傾向と学習方法 ②「情報セキュリティ全般」 ・ 情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手／不正利用 ③「情報セキュリティ全般」 ・ Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害／悪用、人的脅威／物理的脅威／その他の脅威 ④「情報セキュリティ全般」 ・ 暗号化技術／認証技術、デジタル署名 ⑤「情報セキュリティ対策」 ・ マルウェア対策、不正アクセス対策 ⑥「情報セキュリティ対策」 ・ ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策 ⑦「情報セキュリティ管理」 ・ 情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント ⑧「情報セキュリティ管理」 ・ 情報セキュリティインシデント管理 ⑨「情報セキュリティ関連法規」 ・ 情報セキュリティ関連法規						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅱ	外部企業より派遣	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。 原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。							
【講義概要】							
半期に一度集中講義の形で開講。 社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。 Ⅰと同じ内容だが、Ⅰ受講者で資格未取得者は再度受講ができる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」 ・出題傾向と学習方法 ②「情報セキュリティ全般」 ・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手／不正利用 ③「情報セキュリティ全般」 ・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害／悪用、人的脅威／物理的脅威／その他の脅威 ④「情報セキュリティ全般」 ・暗号化技術／認証技術、デジタル署名 ⑤「情報セキュリティ対策」 ・マルウェア対策、不正アクセス対策 ⑥「情報セキュリティ対策」 ・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策 ⑦「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント ⑧「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティインシデント管理 ⑨「情報セキュリティ関連法規」 ・情報セキュリティ関連法規						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	実習	MOS対策Ⅰ	砂賀 勝己	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
マイクロソフトMOS資格の対策講座。 原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。							
【講義概要】							
模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う							
回	授業計画及び学習の内容						
1	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	実習	MOS 対策Ⅱ	砂賀 勝己	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
マイクロソフトMOS資格の対策講座。 原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。							
【講義概要】							
模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う							
回	授業計画及び学習の内容						
1	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	基礎学力 I	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる							
【講義概要】							
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など							
回	授業計画及び学習の内容						
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）						
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題						
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題						
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み						
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題						
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習						
7	中間試験						
8	図形問題（角度）						
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）						
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題						
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題						
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）						
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題						
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。							
【教科書・参考文献】							
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 選択	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる						
【講義概要】						
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など						
回	授業計画及び学習の内容					
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)					
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)					
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)					
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)					
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)					
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)					
7	中間考査					
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開					
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)					
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)					
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根					
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式					
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法					
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合					
15	期末考査					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。						
【教員紹介】						
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。						
【教科書・参考文献】						
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2025		1 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
一般教育 必修	講義	一般常識 I		唐戸 民雄	無	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。						
【講義概要】						
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPI などでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	言語事項の確認 1	社会科系統 1	理数系統 1	確認テスト 1		
2	言語事項の確認 2	社会科系統 2	理数系統 2	確認テスト 2		
3	言語事項の確認 3	社会科系統 3	理数系統 3	確認テスト 3		
4	言語事項の確認 4	社会科系統 4	理数系統 4	確認テスト 4		
5	言語事項の確認 5	社会科系統 5	理数系統 5	確認テスト 5		
6	言語事項の確認 6	社会科系統 6	理数系統 6	確認テスト 6		
7	言語事項の確認 7	社会科系統 7	理数系統 7	確認テスト 7		
8	中間試験					
9	言語事項の確認 8	社会科系統 8	理数系統 8	確認テスト 8		
10	言語事項の確認 9	社会科系統 9	理数系統 9	確認テスト 9		
11	言語事項の確認 10	社会科系統 10	理数系統 10	確認テスト 10		
12	言語事項の確認 11	社会科系統 11	理数系統 11	確認テスト 11		
13	言語事項の確認 12	社会科系統 12	理数系統 12	確認テスト 12		
14	言語事項の確認 13	社会科系統 13	理数系統 13	確認テスト 13		
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		80%	10%		10%	
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。				
【教員紹介】						
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。 また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。						
【教科書・参考文献】						
授業時にプリントを配付する。						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	Tope Salami	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。							
【講義概要】							
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で受領を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標						
2	Introducing Python						
3	Conversing with Python						
4	Writing a Program (Python Script)						
5	Writing a Program (Python Script) #2						
6	Review						
7	Mid term test						
8	Mid term review						
9	Create your first Program						
10	Create your first Program #2						
11	Comments and Errors #1						
12	Comments and Errors #2						
13	Variables						
14	Review						
15	Final test						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
Tope Salami：IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。”							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	ビジネス数学	氏原 真代	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本的な数学の考え方、公式を理解する。特に割合の考え方を身につける。把握力・分析力・選択力・予測力・表現力のレベルを上げ、ビジネス数学検定に合格する。							
【講義概要】							
ビジネス数学検定で出題されるような計算問題を考える力を養う。毎回いろいろな分野の問題を扱うことで、問題に慣れ、自分なりの考え方ができるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	割合と百分率（１） 原価，定価，利益，値引き，売価，純利益						
2	割合と百分率（２） 金利の計算，単利，複利						
3	予測力（１） データからの予測，仕事算，作業時間，累積時間						
4	予測力（２） 不等式，売上高の比較						
5	選択力（１） 評価の重みづけ，期待値						
6	百分率と割合・予測力・選択力のまとめ 演習問題						
7	中間試験						
8	グラフ（１） グラフの種類						
9	グラフ（２） グラフを読む，グラフを書く						
10	集合 ベン図，集合の法則，顧客調査						
11	データの分布（１） 散布図，相関係数						
12	データの分布（２） ヒストグラム，バブルチャート						
13	選択力（２） 顧客管理						
14	グラフ・集合・データ分布・選択力のまとめ 演習問題						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】						本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当	
【教科書・参考文献】							
授業時にプリント配布，ビジネス数学検定3級							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	就職対策 I	石井眞木子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。 また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。 また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ （価値観のワーク）						
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解						
3	働くことの意味、社会人との違いの理解						
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」						
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」						
6	お金の話（給与＋残業代）						
7	中間試験						
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、S E の業務内容の理解						
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等						
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」						
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと						
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢						
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践						
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		10%	10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
なし							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	石井眞木子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の作成についての説明						
2	履歴書を書き始める 「PREP法」を正しく理解する						
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める						
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める						
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する						
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
7	中間試験						
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う						
10	面接試験のロールプレイング その1						
11	面接試験のロールプレイング その2						
12	企業求人の理解 その1. 企業の求人票を確認する						
13	企業求人の理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		10%	10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー	今村 朋子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。							
【講義概要】							
授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス						
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点						
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法						
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本						
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い						
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」						
7	中間試験						
8	電話の応対① 電話応対の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応						
9	電話の応対② 電話応対の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成						
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方						
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次						
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー						
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール						
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「うかる！秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社							
【教科書・参考文献】							
各クラス共通 「社会でいきる 実践ビジネスマナー」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅰ	情報処理科 担当教員	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4	学園祭準備（1 日目、2 日目）						
5							
6							
7	学園祭（1 日目）						
8							
9							
10	学園祭（2 日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】						-	
【教科書・参考文献】						-	

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2025		1 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 選択	実習	課外活動Ⅰ	情報処理科 担当教員	無	1 単位 15 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。						
【講義概要】						
参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に1 単位を認定する						
回	授業計画及び学習の内容					
1	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など					
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計
割合				50%	50%	100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
-						
【教科書・参考文献】						
-						